

ISO 9001
認証取得

shindaiwa

取扱説明書

エンジン刈払機

RK251-SP RK251F-SP

Softスタート

▲ 注意

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。また、内容をよく理解したうえでご使用ください。不適切な操作や保守は重大な事故につながるおそれがあります。なお、この取扱説明書はいつでも利用できるよう、大切に保管してください。

目次	頁
1. 安全にご使用いただくために	2
1-1. ご使用前に	2
1-2. キックバック	5
1-3. 給油	6
1-4. 始動	7
1-5. 作業	8
1-6. 停止	9
1-7. 点検・整備	9
1-8. 移動・保管	10
2. 各部名称	11
3. 組立の手順	14
3-1. 外観と付属部品のチェック	14
3-2. フレキシブルケーブル取り付け準備	14
3-3. フレキシブルケーブルとアウターパイプの取り付け	15
3-4. フレキシブルケーブルとエンジンの取り付け	15
3-5. スロットルケーブルの取り付け	16
3-6. スロットルケーブルの遊び調整	17
3-7. フロントハンドルの取り付け	17
3-8. 安全ガードの取り付け	18
3-9. 刈刃の取り付け	19
4. エンジンの始動と停止	23
4-1. 燃料の給油	23
4-2. エンジンの始動	24
4-3. 始動困難なとき	27
4-4. 停止	28
5. 刈払い作業	29
5-1. 背負いバンドの掛け方	29
5-2. ストラップの使用方法	30
5-3. 操作の方法	30
6. 点検・整備	32
6-1. エアクリナーの掃除	32
6-2. キャブレターの調整	33
6-3. スパークプラグの点検	34
6-4. シリンダーフィンの掃除	35
6-5. 燃料フィルターの掃除	35
6-6. ギヤケースのグリース補給	36
6-7. フレキシブルシャフトのグリース補給	37
6-8. 刈刃の目立て	38
7. 長期保管	38
8. 故障の診断と処理	40
9. 主な消耗品	43
10. 仕様	44

はじめに

新ダイワ刈払機をご購入いただきありがとうございます。この取扱説明書の「安全にご使用いただくために」を十分理解し、安全に使用してください。この取扱説明書で分からないことがありましたら、お求めの販売店かお近くの弊社営業所にお問い合わせください。

刈払機は高速で回転する刃物で草刈りをする機械です。ケガや火災を予防するために安全を常に心がけてください。不注意または不適切な使用は重大な事故の原因になります。

.....

シグナル用語の説明

この取扱説明書は次のシグナル用語を使用しています。



取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。



取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

1. 安全にご使用いただくために

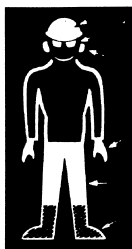
警告ラベルの説明



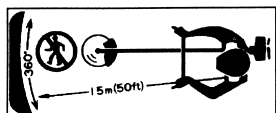
この取扱説明書をよくお読みください。



この機械を運転中は常に耳栓、保護メガネ、保安帽を着用してください。



この機械を運転中は常に耳栓、保護メガネ、保安帽、長ズボン、スリップ防止底の安全靴、滑り止めのついた防振性のある手袋を着用してください。



この機械を運転中は15m以内に他の人を近づけないでください。



飛散物に注意してください。

1-1 ご使用前に

⚠ 危険

- 取扱説明書を読んでいない人や年少者（子供）に刈払機を使用させないでください。
- この機械を他人に貸す時は、必ず取扱説明書を添付してください。
- はじめて刈払機を使用する方は使用方法を販売店などからよく教わり、使用方法を十分習得してから使用してください。

- この刈払機は腰以下の位置で草刈りに使用するものであり、目的外に使用しないでください。
- 作業をする場所に適した刈刃を使用してください。
 - のこ刃＝細い木など（太い木は切らないでください。）
 - 笹刈刃＝笹・草全般（木は切らないでください。）
 - VR 8 枚刃＝草（木は絶対切らないでください。）
 - チップソー＝草・木など（刃の形で切るものが異なりますので、その刃の用途をよく確認ください。）
 - ナイロンコードカッター＝草異なった用途への使用は、刈刃の破損やけがのもとになりますので、刈刃の用途をよく確認してご使用ください。
- 作業中は石、金属やプラスチックなどに刈刃を当てないでください。刈刃が破損、飛散し、危険です。
- 刈刃が石などの硬いものに当たったときは、ただちにエンジンを停止し、刈刃が停止した後に、刈刃に異常がないことを確認してください。異常がある場合はただちに新しい刈刃に交換してください。
- 曲がり、変形、亀裂、破損の生じた刈刃は廃却し、使用しないでください。
- 安全ガードが取扱説明書にしたがって、しっかりと取り付けであることを確認してください。
- 安全ガードなどの安全装置は絶対に取り外さないでください。
- 作業する場合、刈払機の15m以内に他の人、子供、動物がいないことを確認してください。誰かが近づいてきた場合は、エンジンを停止し、刈刃を止めてください。
- エンジン始動時および運転時は絶対に刈刃に手や足を近づけないでください。
- 屋内などの換気の悪い場所では、決して刈払機を運転しないでください。排気ガスにより、ガス中毒をおこします。
- 排気ガスを直接吸わないでください。人体に有害です。

⚠ 警告

- 作業前に刈払機の点検（32ページを参照）を行ってください。この時、破損した部品は交換し、ネジの脱落やゆるみのないことを確認してください。
- 決して刈払機を勝手に改造しないでください。
- 弊社が指定した刈刃以外は使用しないでください。
- 正しく目立てされた刈刃を使用してください。
- 刈刃を装着する際は必要な部品をすべて組み込んでください。必要な部品を組み込まない場合には刈刃が抜け落ち、運転者や付近の人に飛んで大ケガになる危険性があります。
- 混合ガソリンを使用しますので、刈払機のそばで喫煙やたき火をしないでください。火災発生のおそれがあります。
- 作業前に燃料漏れがないか確認を行ってください。漏れがあった場合はただちに修理してください。
- マフラーやマフラーから出る排気は非常に高温になりますので、燃えやすい物を近づけないでください。
- 疲労、病気、酒気帯びの場合、または医薬品服用中の場合は作業を行わないでください。また作業中に体調が悪くなった場合にはすぐエンジンを止め、作業を中止してください。
- 規格に合った保安帽を正しく着用してください。落下物や飛散物によりケガをするおそれがあります。
- 必ず保護メガネをつけてください。
- 必ず耳栓をつけてください。聴覚障害をおこすおそれがあります。
- 刈払機を取り扱うときには、厚手で滑り止めのついた防振性のある手袋を着用して手を保護してください。
- 裾のひらひらした服、アクセサリー類、ショートパンツ、サンダル



などを着用しないでください。頭髮は肩から下に垂れないように覆ってください。枝や機械の可動部にかからまる危険性があります。

- 靴は底に滑り止めのついた安全靴を使用してください。雨の日は、滑りやすいので作業をさけてください。

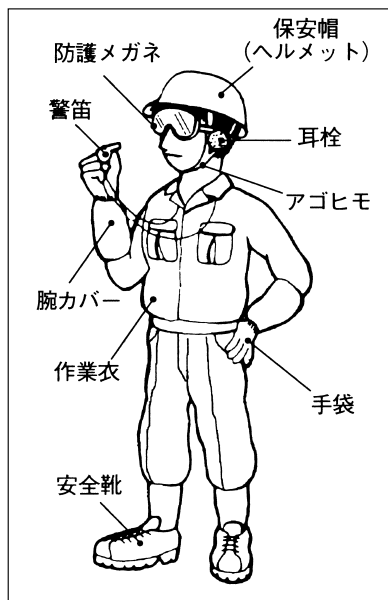
- 作業前に作業場所をきれいにしてください。石、ビン、カン、ワイヤーなどが飛散して大ケガをするおそれがあります。

- 夜間および天候の悪いときは使用しないでください。

- 風、雨、大雪、濃霧などの悪天候のとき、または落石やなだれのおそれのある場所では、使用しないでください。

- 作業は早朝や夕方には行わず、視界のよい日中に行ってください。

- 刈払機の操作時間は1日2時間以内にとどめ、30～40分運転したら10～20分休憩してください。振動障害をおこすおそれがあります。



⚠ 注意

- 刈刃を装着する際は必ず手袋をしてください。刈刃は鋭い刃がついています。素手でさわるとケガをします。

1-2 キックバック (はね返り)

⚠ 危険

- キックバックは刈刃が硬い物に接触した場合におこる可能性があります。刃物が硬い物に当たった反動により、本体および運転者が

激しく押し返されます。この反動をキックバックと言います。結果として運転者は刈払機をコントロールできなくなり、重大な事故につながる場合があります。切断状態が良く見えない時は注意が必要です。

- 刈刃は目立てしたよく切れる刈刃を使用してください。キックバックの発生が少なくなります。



1-3 給油

⚠ 警告

- ガソリンと2サイクル専用オイルの混合および給油は、屋外の風通しのよい火気のない場所で行ってください。給油はエンジンを停止し、エンジンが冷えた後にゆっくりと燃料キャップを外して行ってください。急に燃料キャップをはずすと燃料が吹き出すことがあります。
- こぼれた燃料は本体から拭き取ってください。
- 燃料は引火しやすいので、混合や給油中にタバコを吸ったり火花を出したりしないでください。

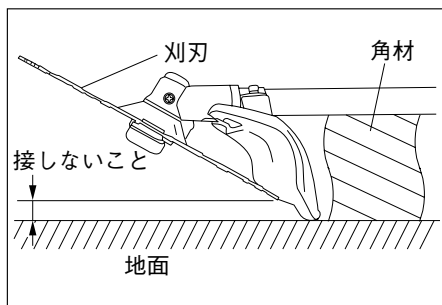
⚠ 注意

- 異物やゴミを燃料タンク内に入れないために、燃料を補給する前にキャップのまわりをよく清掃してください。

1-4 始動

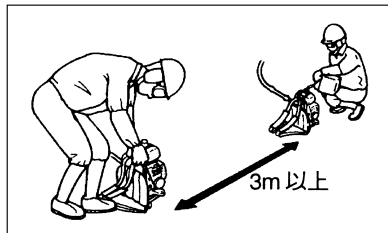
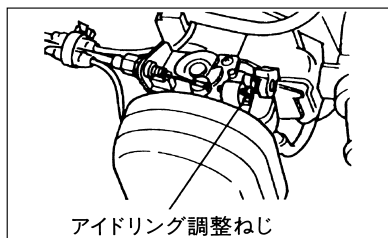
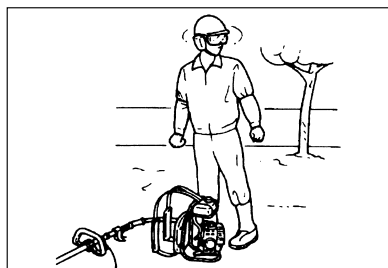
⚠ 危険

- エンジンを始動する場合は、刈払機のサオの下に角材またはスタンド等を当て、刃を地面から浮かせてください。エンジンが始動するとすぐに刈刃が回転することがあります。



⚠ 警告

- エンジンの始動は取扱説明書に従い、安定の良い場所で行ってください。
- 始動時は周囲の安全を確認し、一人（補助者なし）で行ってください。
- エンジンがアイドリング時、刈刃が回転しないことを確認してください。アイドリング時、刈刃が回転すると危険です。回転する場合はアイドリング調整ねじでアイドリング調整をして回転数を下げてください。
- 燃料への引火防止のためエンジンの始動は、給油場所から3m以上離れた場所で行ってください。
- ストップスイッチを押して又はスライドしてエンジンが停止することを確認してください。



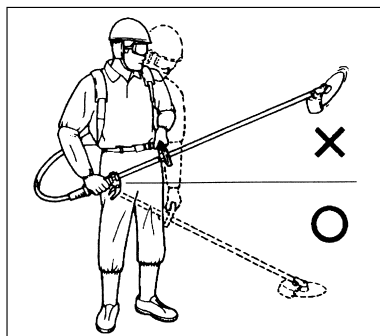
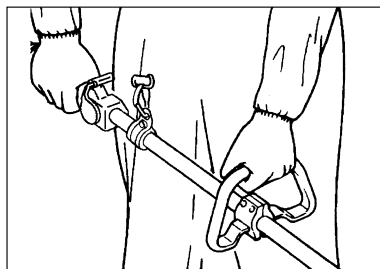
1-5 作業

⚠ 危険

- 燃料漏れがないか確認し、万一漏れていたら必ず修理し漏れてないことを再確認してください。燃料タンク、配管、キャブレタなどから漏れていないか常に注意してください。

⚠ 警告

- 刈払機を操作するときはフロントハンドルとリヤグリップを両手でしっかり握ってください。その他の部分は持たないでください。また、片手での操作は絶対にしないでください。
- 必ず背負いバンドを使用してください。
- 刈刃を腰の高さ以上に上げないでください。
- しっかりした足場の上で安定した姿勢で作業を行ってください。
- 刈払機を使用している人に近づくときはお互いに合図を行い、エンジンを停止し、停止を確認した後に前から近づいてください。
- 刈刃にものがはさまったり、からまった場合はエンジンのスイッチを切り、刈刃が停止した後に、取り除いてください。
- 刈払機を落したり、作業中に木にぶついたり、何か異物に当たったときは、エンジンを止めて損傷の有無を調べてください。もし損傷があれば使用せず、すみやかに修理してください。
- 燃料キャップは休憩時に増し締めしてください。運転中に振動でゆるんでいる可能性があります。



- 燃料が漏れた場合は、ただちにエンジンを停止して、火気を近づけないでください。
- 刈刃を石などに当てた場合は、必ずエンジンを停止して刈刃に異常がないか確認してください。
- エンジンを運転していないときは、刈刃が回転していなくても刈刃に手を触れないでください。

⚠ 注意

- 運転中または停止直後に高温部（マフラー、シリンダーなど）に触れないでください。ヤケドをします。
- 運転中は高電圧部（プラグキャップ、プラグコードなど）に触れないでください。感電するおそれがあります。

1-6 停止

⚠ 警告

- エンジン停止後、あるいはスロットルレバーを戻した後も、刈刃はしばらく回転し危険です。スイッチを切った時には、刈刃が停止するのを待って、停止を確認した後に刈払機を地面に置いてください。

1-7 点検・整備

⚠ 危険

- 点検・整備（刈刃交換、掃除など）を行うときは必ずエンジンを停止し、刈刃が停止していることを確認してから行ってください。
- リコイルスターターを分解しないでください。部品が飛びだし、ケガをするおそれがあります。

警告

- ガソリンはたいへん引火しやすいので、点検・整備は風通しのよい火気のない所で行ってください。
- 燃料キャップや燃料タンクおよびキャブレターなどから燃料漏れがないか定期的に確認してください。
- 整備と修理を行うときは新ダイワ純正部品を使用してください。他社の部品を使用すると重大な事故になる危険性があります。
- 取扱説明書に記述がない整備や修理は行わないでください。そのような整備や修理はお求めの販売店かお近くの弊社営業所に依頼してください。

注意

- 点検・整備はエンジンが冷えてから行ってください。ヤケドのおそれがあります。

1-8 移動・保管

警告

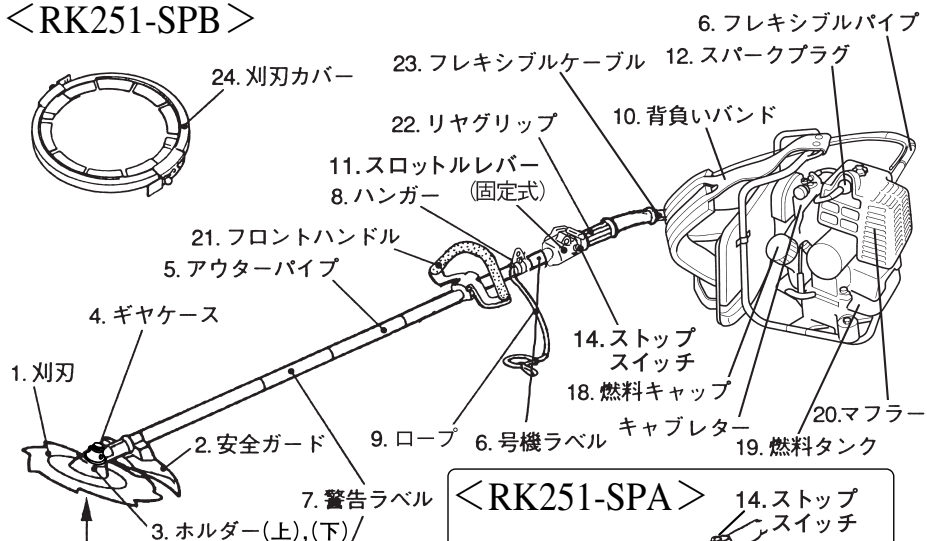
- 移動時あるいは保管時にはエンジンを停止してください。
- 移動時あるいは保管時には刈刃に刈刃カバーをしてください。

注意

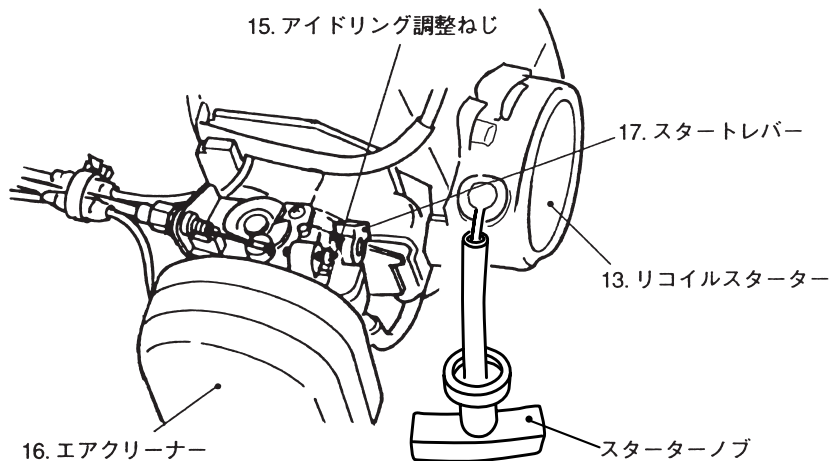
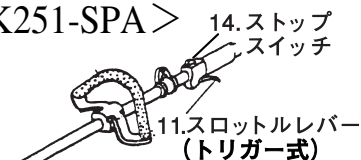
- 保管の際は、燃料漏れ、破損、ケガなどを防止するために、刈払機を転倒しないように安定した場所に置いてください。
- 年少者（子供）の手が届かない乾燥した冷暗所に保管してください。
- 2～3日以上保管する場合は燃料タンクおよびキャブレター内の燃料を空にしてください。

2. 各部名称

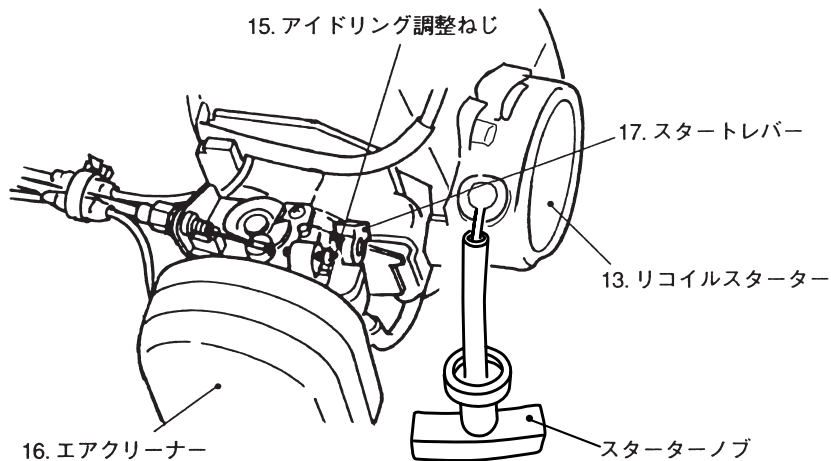
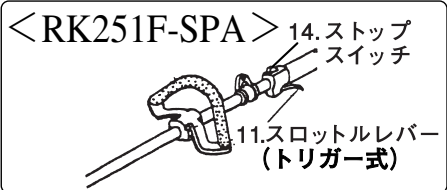
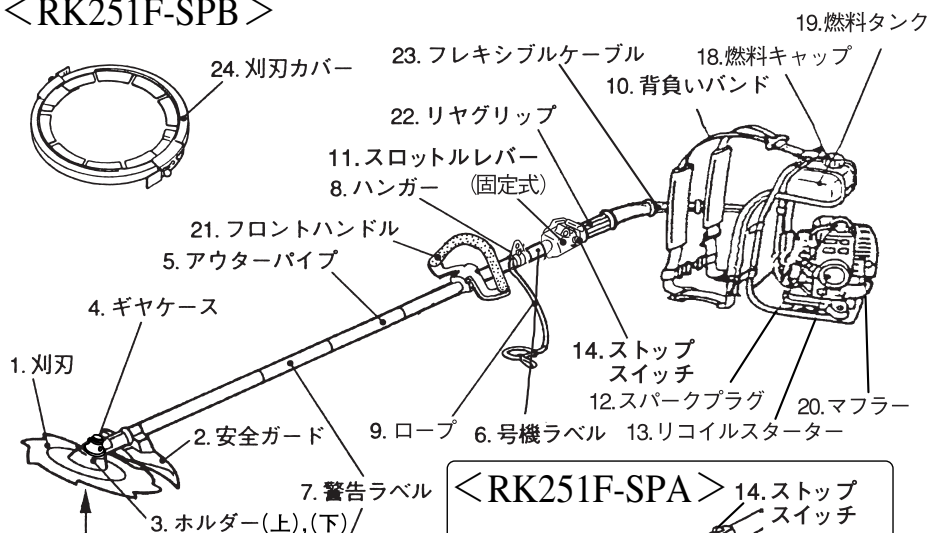
<RK251-SPB>



<RK251-SPA>



<RK251F-SPB>



No.	名 称	機 能
1	刈刃	刃の付いた金属製円板です。雑草を切断します。
2	安全ガード	飛散物から運転者を守ります。
3	ホルダー(上),(下)	刈刃を固定します。
4	ギヤケース	エンジン回転を減速するギヤが格納されています。
5	アウターパイプ	エンジンの回転力を刈刃に伝える伝動軸が中を通っており、刈刃を操作するためのさおとなります。
6	号機ラベル	製品の形式名および号機番号を示します。
7	警告ラベル	警告指示事項を示します。
8	ハンガー	ストラップを刈払機本体にひっかけるための金具です。
9	ロープ	刈払機のアウターパイプ部をバランスの良い位置に保持するための部品です。
10	背負いバンド	刈払機を背負うバンドで長さを調整して使用します。
11	スロットルレバー	エンジンの回転速度を調整するために使用します。
12	スパークプラグ	混合気に火花で点火するための部品です。
13	リコイルスターター	スターターノブを引いてエンジンを始動します。
14	ストップスイッチ	スイッチを押すとエンジンが停止します。
15	アイドリング調整ねじ	アイドリングの回転速度を調整します。
16	エアクリーナー	エンジンに吸引する空気のゴミを取り除くフィルターです。
17	スタートレバー	冷えているエンジンの始動時に燃料と空気の混合割合を調整し、始動性をよくします。
18	燃料キャップ	燃料タンクのふたです。
19	燃料タンク	燃料を入れる容器です。
20	マフラー	排気音を減少させます。
21	フロントハンドル	刈払い作業時に握るハンドルです。
22	リヤグリップ	刈払い作業時に握るグリップです。
23	フレキシブルケーブル	フレキシブルシャフトが入っている部分で自由に曲げることができます。
24	刈刃カバー	機械の持ち運びをするときに使用する刈刃のカバーです。

3. 組立の手順

⚠ 注意

- ボルトは必ず付属の六角レンチを使用し、手で締め付けてください。

3-1 外観と付属部品のチェック

この製品は工場出荷の際、厳重な検査を行っておりますが、念のためにこの製品の損傷やボルト、ナット類のゆるみなどが点検してください。また、付属部品の欠品がないか点検してください。

もし、点検の結果、異常や欠品があった場合はただちにお求めの販売店か弊社営業所へご連絡ください。

付属部品

フロントハンドル、クランプ(樹脂)

安全ガード、クランプ(鉄板)

ロープ、刈刃カバー(2個)、ゴーグル

刈刃用ポリバッグ、プラグレンチ、六角レンチ

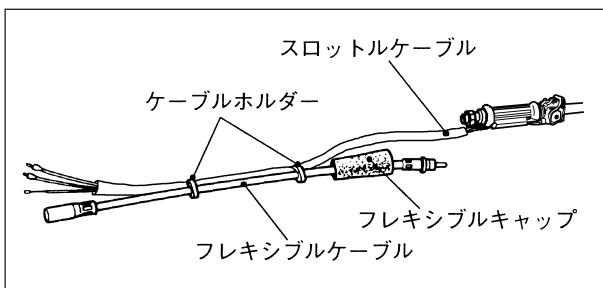
ボルト(M5×20、2本)、スクリュ(M5×30、4本)、ナット(M5、4個)

クランプ、バンド

取扱説明書、保証書

3-2 フレキシブルケーブル取り付け準備

- ① スロットルケーブルに付いているケーブルホルダーにフレキシブルケーブルを通します。

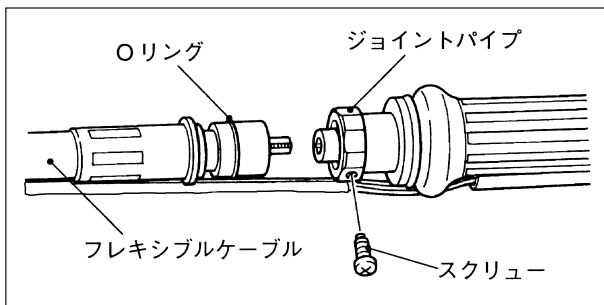


- ② 付属のフレキシ

ブルキャップをフレキシブルケーブルに図のようにはめます。

3-3 フレキシブルケーブルとアウターパイプの取り付け

- ①ジョイントパイプのスクリーを外し、フレキシブルケーブルのOリング側を差し込んでください。

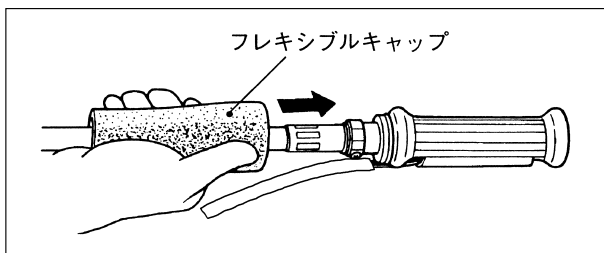


⚠ 注意

- フレキシブルケーブルの差し込み方向を間違えないように気をつけてください。

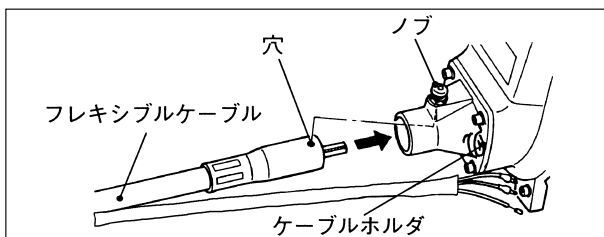
- ②ジョイントパイプのスクリー穴とフレキシブルケーブルの円周溝を確実に合わせスクリーを締め付け、フレキシブルケーブルが抜けないようにしてください。

- ③ジョイントパイプとリヤグリップの間の溝までフレキシブルキャップをかぶせてください。



3-4 フレキシブルケーブルとエンジンの取り付け

- ①エンジンにフレキシブルケーブルの穴側を差し込んでください。



▲注意

- 差し込時にはエンジン、アウターパイプ、フレキシブルケーブルがまっすぐになるように置き、フレキシブルケーブルを少し回しながら差し込むと楽に入ります。

- ②奥まで差し込んだら、フレキシブルケーブルを回しノブを穴に入れてロックしてください。

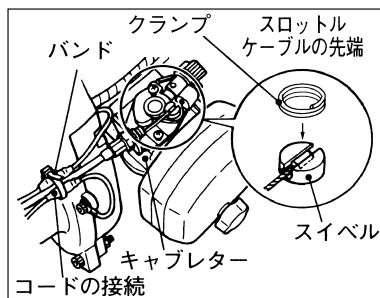
▲注意

- フレキシブルケーブルを引張りエンジン側のノブとジョイントパイプのスクリューがフレキシブルケーブルの溝に入って抜けないことを確認してください。

- ③スロットルケーブルをケーブルホルダに通してください。

3-5 スロットルケーブルの取り付け

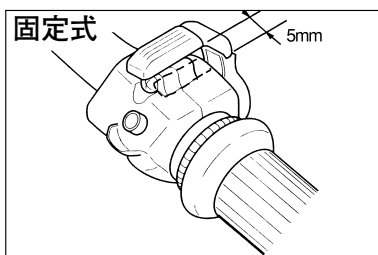
- ①スロットルケーブルをキャブレターのスイベルに取付けてください。
- ②ツールバッグの中のクランプをスイベルにはめてください。
- ③スロットルケーブル側のコードとエンジン側のコードを接続してください。



- ④ツールバッグの中のバンドで端子部を固定してください。

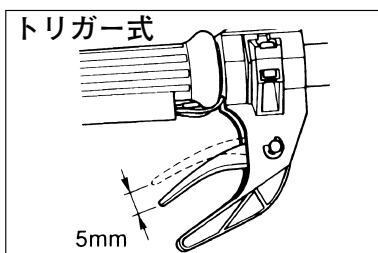
3-6 スロットルケーブルの遊び調整

- ①スロットルレバーを軽く動かし、スロットルレバー先端の遊びが5 mm程度あるかどうか確認してください。

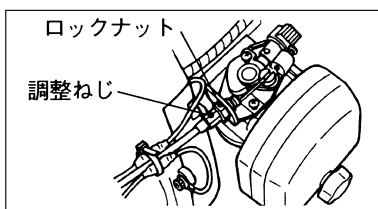


- ②遊びの距離が長い場合または短い場合はキャブレター部のロックナットをゆるめ、調整ねじを移動させながら遊びの距離を調整してください。

調整ねじを [右に回すと→遊びが長くなる。
左に回すと→遊びが短くなる。]



- ③遊びの距離が5 mm程度に調整できたら、ロックナットで調整ねじを固定してください。



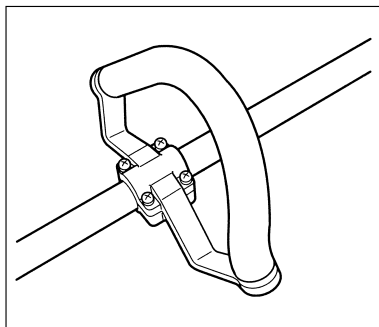
3-7 フロントハンドルの取り付け

▲ 警告

- フロントハンドルは必ず取り付けて使用してください。フロントハンドルを取り付けずに使用すると重大な事故の原因となります。

フロントハンドルはエンジンの梱包箱に入っていますので下記の要領で取り付けて下さい。

- ① ツールバッグの中のスクリュー (4 本)・ナット (4 コ) でフロントハンドルをアウターパイプに固定してください。
- ② ギヤケース (刈刃) に対し水平、および操作しやすい位置に調整した後、スクリューを確実に締め付けてください。

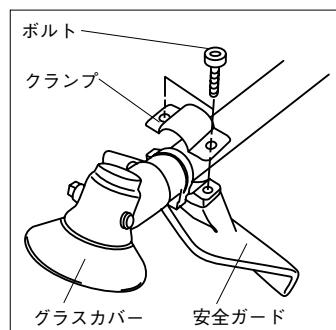


3-8 安全ガードの取り付け

⚠ 警告

- 安全ガードは必ず取り付けて使用してください。安全ガードを取り外したり、正しい位置に取り付けずに作業すると飛散物により、重大な事故につながる危険性があります。

- ① 安全ガードをアウターパイプの下から、クランプをアウターパイプの上から合わせてください。
- ② ナットは安全ガードに組み付けてありますので、ボルトをクランプ側から締め付けてください。



⚠ 注意

- 安全ガードに「がた」がないか確認をしてください。

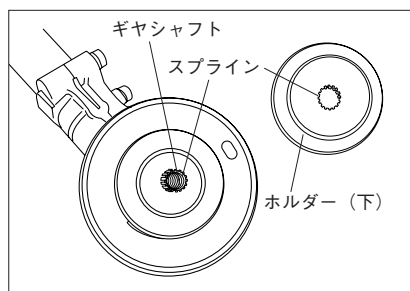
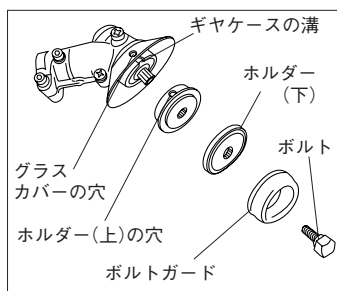
3-9 刈刃の取り付け

3-9-1 金属刃の取り付け

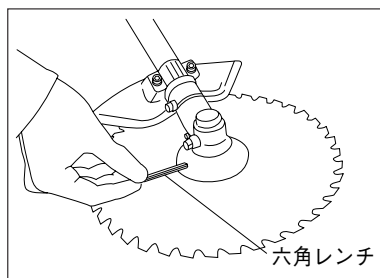


- エンジンが停止していることを確認してください。
- 刈刃の回転方向と、刈刃の矢印の方向を合わせて取り付けてください。

- ① 刈刃の回転方向はギヤケース側から刈刃を見て反時計回りです。
- ② 刈刃固定用ボルト（左ねじ）を付属のプラグレンチで時計方向へ回し、ボルト、ボルトガード、ホルダー（下）を取り外してください。
- ③ 刈刃をホルダー（上）の凸部に取りつけてください。

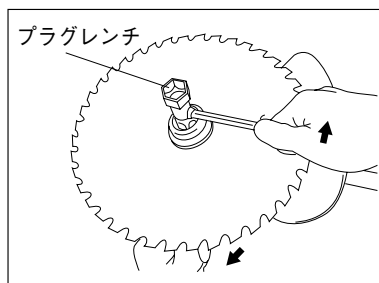
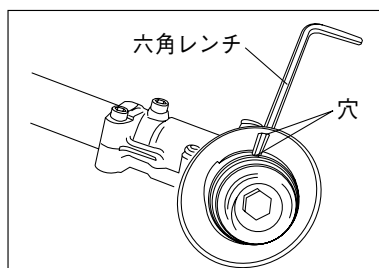


- ④ ホルダー（下）をギヤシャフトのスプライン溝に合わせながら、刈刃に確実に密着するように取り付けてボルトガード、刈刃固定用のボルトを手で締めてください。
- ⑤ ホルダー（上）、（下）を手でゆっくり回り Glasカバーの穴、ホルダー（上）の穴、そしてギヤケースの溝を合わせて、六角レンチ（M5用）を差し込み、ホルダー（上）が回らないことを確認してください。ホルダー（上）が回る場合はギヤケースの溝に六角レンチが入っていないため、ホルダー（上）を回しながら穴位置を合わせてください。



⑥六角レンチを左手でしっかりと押さえながら、刈刃固定用ボルトをプラグレンチで反時計方向に回し、確実に刈刃を締め付けてください。

⑦刈刃の取り付け後、必ず刈刃が確実に取り付けられていることを確認してください。



⚠ 危険

■ 取り付けが傾いていたり、締め付けが不十分な場合、運転中に刈刃が外れて飛散し、重大な事故の原因となります。

⑧軽く手で刈刃を回し、異常な振動または刈刃のぶれがないか確認してください。刈刃にぶれがある場合刈刃の穴がホルダー（上）にきちんと入っていないので、刈刃固定用ボルトをゆるめて、やり直してください。

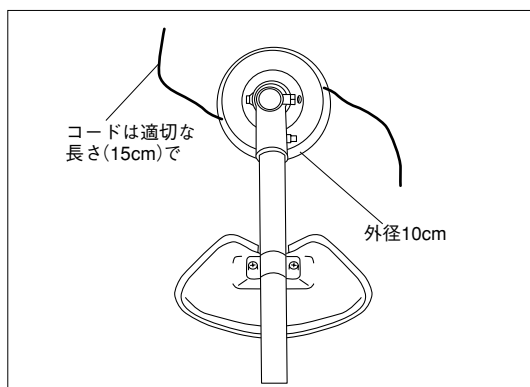
3 - 9 - 2 ナイロンカッター（別売）の取り付け

注 意

- ナイロンカッターご使用時は製品に付属しているボルトガードを別売品のボルトガード（品番22035-13290）に交換する必要があります。
お買いあげ店でお求めください。

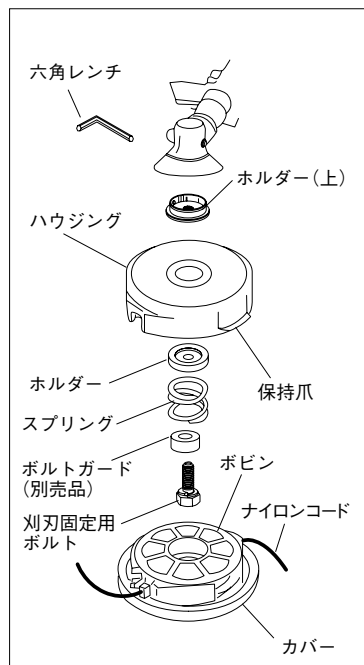
注 意

- ナイロンカッターは金属刃より抵抗が大きいため、取扱い操作を誤るとクラッチ部分が損傷することがあります。
ご使用時は次の点をお守りください。
 - ・ ナイロンカッターは純正品をお使いください。市販品をお使いになる場合は本体の径が小さく（外径10cm程度）、軽いものにしてください。
 - ・ ナイロンコードの長さは15cm、径はφ2.4が適切です。
20cm以上の長さで連続作業しないでください。
 - ・ 作業時はエンジンの回転速度を高速に保ってください。



- ① 刈刃固定ボルト（左ネジ）を付属のプラグレンチで時計方向に回し、刈刃固定用ボルト、ボルトガード、ホルダー（下）を取り外してください。

- ② ナイロンカッターのハウジング部の保持爪を指で押しながらカバーを取り外してください。
- ③ ナイロンコードが巻き込まれたボビンはカバーにつけたままにしてください。
- ④ ハウジングをホルダー（上）にのせてください。
- ⑤ ハウジングの内側からナイロンカッターに同梱してあるホルダーとボルトガード（別売）を取り付け、刈刃固定用ボルトを手で締めてください。
- ⑥ 六角レンチで回り止めをして、刈刃固定用ボルトをプラグレンチで確実に締め付けてください。
- ⑦ カバーを元通りハウジングに取り付け、保持爪がカバーの溝に完全にかかっていることを確かめてください。



⚠ 警 告

- 取り付けが傾いていたり、締め付けが不十分な場合、運転中にナイロンカッターが外れて、重大な事故の原因となります。

- ⑧ 軽く手でナイロンカッターを回し、ナイロンカッターのぶれがないか確認してください。
ナイロンカッターにぶれがある場合はハウジングの穴がホルダー（上）にきちんと入っていないので、取り付け直してください。
- ⑨ 刈払機に付いていたホルダー（下）、ボルトガードは金属刃使用時に必要となりますので、紛失しないよう保管してください。

4. エンジンの始動と停止

4-1 燃料の給油

警告

- 給油は屋外の風通しのよい火気のない場所で行ってください。
- 平らな場所で給油してください。
- こぼれた燃料は本体から拭き取ってください。

4-1-1 燃料

燃料は必ず、無鉛ガソリン25に対して2サイクル専用オイル1の割合で混合した混合燃料を使用してください。（「新ダイワ純正2サイクルエンジンオイル50：1」の場合は50：1）燃料の混合は安全容器に2サイクル専用オイルを先に入れ、後からガソリンを加えてください。

ガソリン (L)	2サイクル専用オイル (ml)	
	25：1	50：1
1	40	20
4	160	80
8	320	160

注意

- 正しい混合比の燃料を使わないと、適正な性能が出なかったり、エンジンの焼き付きの原因となります。

4-1-2 給油

警告

- 燃料の補給はエンジンを停止して、エンジンが冷えてからおこなってください。

注意

- 異物やゴミをタンク内に入れないために、キャップを外す前に燃料キャップやそのまわりをよく掃除してください。
- 常に新しい燃料を使用してください。2～3か月以上保存したり、異物が混入した燃料を使用すると故障の原因となります。
- 燃料タンクに直接燃料を入れて混合することは絶対にしないでください。焼き付きや故障の原因になります。

- ①給油する前に燃料をよく混合してください。
- ②燃料タンクの燃料キャップはゆっくりと外し、燃料を補給してください。
- ③給油後は確実にキャップを締め、燃料タンクから燃料漏れのないことを確認してください。

4-2 エンジンの始動

Softスタートは軽く引けるスターターです。リコイルスターターを軽く引いてもスプリングの作用で、エンジンを簡単に始動することができます。

⚠ 危険

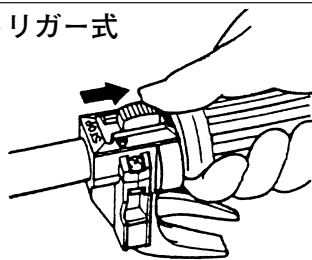
- エンジンを始動する時、刈刃が地面や他の物体に接触していないことを確認してください。また、そばに他の人がいないことを確認してください。始動後すぐに刈刃が回転し危険です。

⚠ 注意

- 始動時にリコイルスターターを最後まで引かないでください。ロープの寿命が短くなります。リコイルスターターを急に離さないでください。正しく巻き込まれないことがあります。

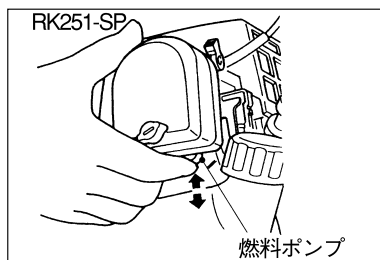
スロットルレバートリガー式の場合、ストップスイッチを「START」・「I」側にスライドさせてください。

トリガー式

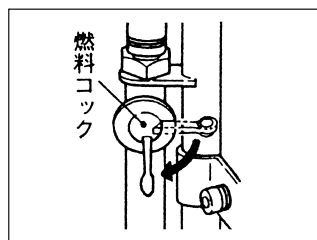


4-2-1 エンジンが冷えているとき、または燃料切れで燃料を補給したとき

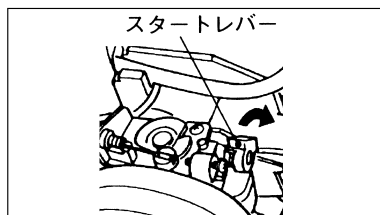
- ①RK251-SPの場合キャブレターの下に付いている 燃料ポンプ（透明の半円形）を数回押し、オーバーフローパイプに燃料が流れはじめ、泡が少なくなったらやめてください。



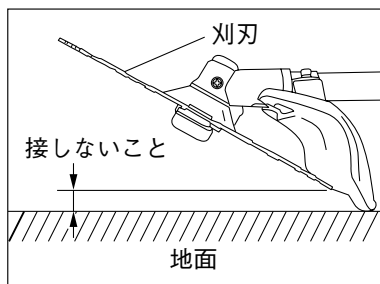
- ②RK251F-SPの場合フレームに付いている燃料コックを開き、しばらくおいて燃料を十分にキャブレターに送り込んでください。



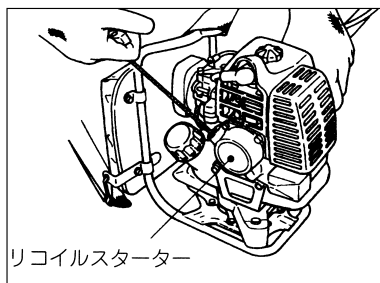
- ③スタートレバーを矢印の方向に倒してください。



- ④刈刃が安全ガードにより地面から離れているのを確認してください。



- ⑤この刈払機を足場のしっかりした平地に置き、図のように左手でエンジンを押さえて、リコイルスターターを引いてください。



▲ 注意

- スタートレバーを倒して始動するとき、爆発音がしたら、必ずスタートレバーを元に戻してから再始動してください。スタートレバーを戻さないと燃料の吸い込みすぎになり、始動ができません。(スタートレバーの解除はスロットルレバーを引いても解除できます。)
- スロットルレバーを引いてスタートレバーを解除する場合・刈刃が回りますので、十分注意してください。

- ⑥爆発音がし、エンジンが始動したら、スタートレバーを元に戻してください。スタートレバーを戻す前に停止した場合は、スタートレバーを戻して再始動してください。(スタートレバーの解除はスロットルレバーを引いても解除できます。)
- ⑦始動したら2～3分アイドリング状態で暖機運転してください。アイドリングとはスロットルレバーが完全に戻っている状態のことです。

4-2-2 エンジンが暖まっているとき

- ④-⑤-⑦の順序で始動してください。

4-3 始動困難なとき

エンジンが暖まっている状態で始動しないときは、エンジンが冷えている場合と同じ方法で始動してみてください。それでも始動しない場合、またはエンジンが冷えた状態で始動しない場合は次の操作をおこなってください。

- ①スパークプラグをプラグレンチで外し、スパークプラグの電極部が漏れているかどうか調べてください。
- ②スパークプラグが漏れている場合はスパークプラグを乾燥してください。スパークプラグを抜き取った状態でリコイルスターターを引き、数回空転させて燃料をシリンダ内から追い出してください。

▲注意

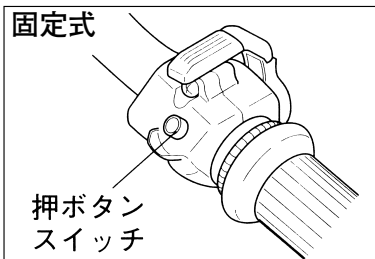
■ 火気を近づけないでください。火災の原因となります。

- ③スパークプラグを付属のプラグレンチで確実に取り付け、プラグキャップをつなぎます。エンジンが暖まっている場合の方法で始動してください。
- ④スパークプラグが漏れていない場合は燃料タンクから燃料が届いていないので、燃料フィルターやキャブレターを点検する必要があります。6-5項の点検をするか、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

4-4 停止

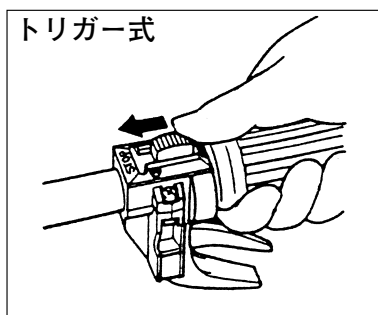
(スロットルレバー固定式の場合)

- ①スロットルレバーを元の位置に戻してエンジンをアイドリング回転速度に戻してください。
- ②エンジンが完全に停止するまで押しボタンスイッチを押し続けてください。



(スロットルレバートリガー式の場合)

- ①スロットルレバーをはなしてエンジンをアイドリング回転速度に戻してください。
- ②ストップスイッチを「STOP」・「0」側にスライドさせてください。



5. 刈払い作業

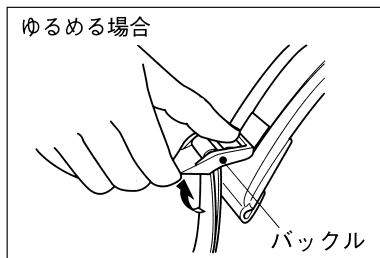
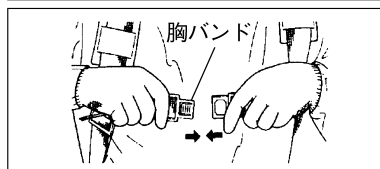
この取扱説明書の「安全にご使用いただくために」を注意してよく読んでください。

警告

- 作業時は必ず背負いバンドを使用してください。
- 刈払機を運転中は常に耳栓、保護メガネ、保安帽を着用してください。

5-1 背負いバンドの掛け方

- ①右手でアウターパイプを持ち、左手で左側のバンドを持ち上げ肩に掛けてください。
- ②アウターパイプを左手に持ちかえ、右側のバンドを肩に掛けてください。
- ③胸バンドをはめて下さい。
- ④背当てパッドが腰のやや上になるように、各バンドの長さを調整して身体になじませてください。



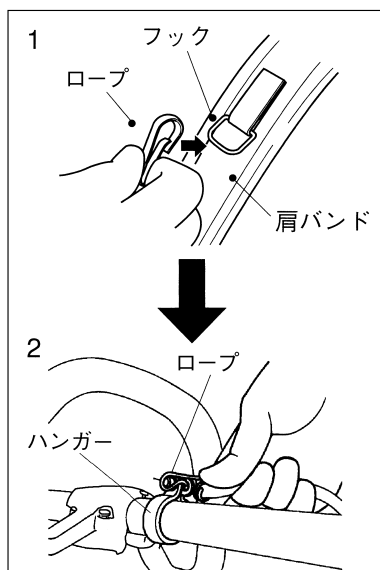
バックルを上方へ持ち上げかみ合いを外してください。バンドが伸びます。



短くする場合はバンドを真下に引いてください。

5-2 ストラップの使用方法

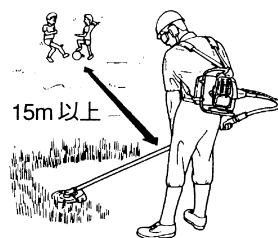
- ①作業状態に応じて背負いバンドのフックとアウターパイプのハンガーをロープでつなぐことにより、快適な操作をすることができます。ロープをハンガーに取り付けるときは、図のようにハンガーの穴にロープを確実に引っかけてください。ロープは作業の楽な長さに調整してください。



5-3 操作の方法

⚠ 警告

- 刈払機を操作するときは、フロントハンドルやリヤグリップを両手でしっかりと握ってください。その他の部分は持たないでください。また、片手での操作は絶対にしないでください。
- 作業中は半径15m以内に他の人を近づけないように注意してください。切りくずや破片等が飛散し大ケガをする恐れがあります。
- VR 8 枚刃は雑草の刈払いだけに使用してください。密着したヤブ等を切ると刈刃が破損し、飛散する恐れがあります。密集したヤブ等はのこ刃を使用してください。
- 作業が終了して移動するときは、必ず刈刃に刈刃カバーをしてください。

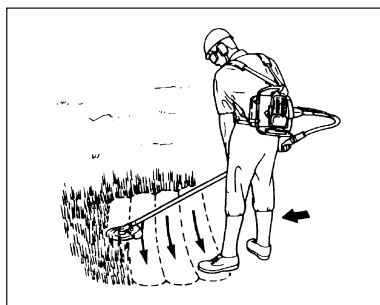


▲注意

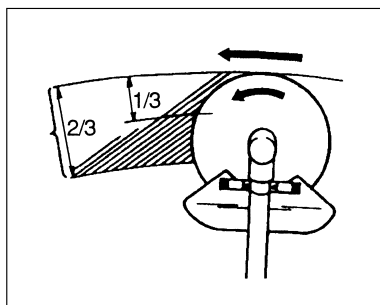
- 雑草を切らない状態でスロットルレバーをいっぱいに引かないでください。エンジンは空ぶかし（無負荷高速）になり、エンジンやシャフトを破損させる原因となります。
- クラッチがつながって刈刃が回転していても、低速にしすぎると共振現象による振動、異音を感じる場合があります。この状態で作業を行うと、クラッチの摩耗が早くなります。また、草なども巻き付き易いので、回転を上げてクラッチの共振が無い回転速度で使用してください。

- ①エンジンを始動させ、スロットルレバーを握りエンジンの回転を上げていくと自動的に刈刃が回転を始めます。
- ②スロットルレバーを戻すとクラッチは切れ、エンジンはアイドリング状態になります。

- ③刈刃の回転方向は反時計方向まわりですから、右側から左側に寄せるように刈ると能率的です。刈り取った草は左側に寄せられるので広い面積を刈る時には左側から前進すると刈り取った草が次の列を刈る時にじゃまにならず、能率的に作業が進められます。



- ④刈刃の安全に切断できる位置は、先端から $1/3 \sim 2/3$ あたりです。刈払いはこの範囲で行ってください。



6. 点検・整備

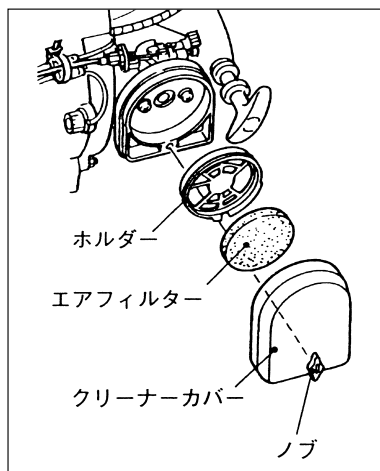
⚠ 注意

- 点検・整備は必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
- ガソリンはたいへん引火しやすいので、点検・整備は風通しのよい火気のないところで行ってください。
- リコイルスターターを分解しないでください。部品が飛びだしてケガをするおそれがあります。

項 目		始動前	毎 月	その他
スクリュウ、ナット	点検、増締	○		
燃料キャップ、燃料タンク 燃料パイプ	漏れ点検	○		
エアクリーナー	掃除	○		
キャブレター	調整			必要な場合
スパークプラグ	点検、掃除		○	必要な場合
	交換			100時間ごと
マフラー	掃除		○	
シリンダーフィン	掃除		○	
燃料フィルター	点検		○	汚れている場合は交換
ブリーザー	掃除		○	
	交換			2年ごと
ギヤケース	グリース補給			50時間ごと
フレキシブルシャフト	グリース補給		○	

6-1 エアクリーナーの掃除

- ① クリーナーカバーのノブをゆるめて、クリーナーカバーをはずしてください。
- ② エアフィルター取り出してください。
- ③ エアフィルターをガソリンでよく洗い、絞ってから取り付けてください。
- ④ クリーナーカバーを取り付け、ノブを締め付けてください。



6-2 キャブレターの調整

キャブレターは工場出荷時に調整してありますので、調整の必要はありません。気圧、気候、燃料の違い、10時間以上の使用による状態変化等により、調整が必要になったときのみ行ってください。

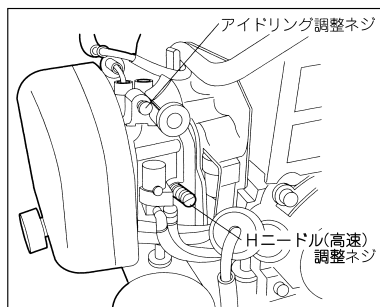
エンジンを始動し、2～3分間の暖機運転の後、次の手順で調整してください。また、エアクリーナーが汚れている場合は掃除してから行ってください。

⚠ 危険

- 刈刃の周辺に人または干渉物がないことを確認して行ってください。アイドリングの調整時、低速と高速の回転調整時には刈刃が回転します。

6-2-1 アイドリング回転速度の調整

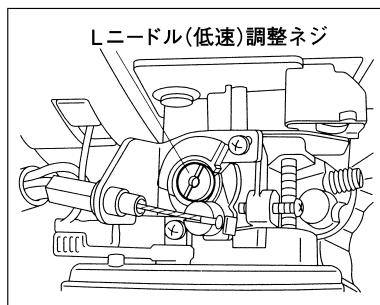
アイドリング時には刈刃が回転しないようにアイドリング調整ネジでエンジン回転を下げます。またエンジンが安定して回転するように調整してください。



アイドリング調整ネジ $\left\{ \begin{array}{l} \text{時計方向にまわすと} \rightarrow \text{回転が上がる。} \\ \text{反時計方向にまわすと} \rightarrow \text{回転が下がる。} \end{array} \right.$

6-2-2 低速と高速の調整

標準開度は、調整ネジを静かにいっぱい締め込んだところからの戻し回数です。(φ255mmの刈刃を付けた状態でエンジン回転速度が $10,000 \sim 11,000 \text{ min}^{-1} \{ \text{rpm} \}$ を目安に調整してください。)



RK251F-SP

標準開度	Lニードル	1±1/4回戻し
	Hニードル	なし

RK251-SP

標準開度	Lニードル	1±1/4回戻し
	Hニードル	2回～1 1/2回戻し

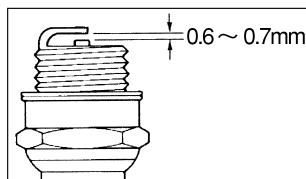
▲ 注意

- 不調の場合は、当社指定販売店に調整を依頼してください。

6－3 スパークプラグの点検

エンジンの始動性が悪くなったり、アイドリングが不安定になった場合はまずスパークプラグを点検してください。

- ① プラグキャップを外し、スパークプラグを付属のプラグレンチで外してください。
- ② ワイヤブラシでスパークプラグの汚れを落としてください。必要なら電極間すきまを調整をしてください。正しいすきまは0.6～0.7mm（はがき3枚の厚さ）です。調整がうまくできない場合は、販売店か弊社営業所に依頼してください。
- ③ スパークプラグを締め付け、プラグキャップをしっかりと奥まで取り付けてください。



▲ 注意

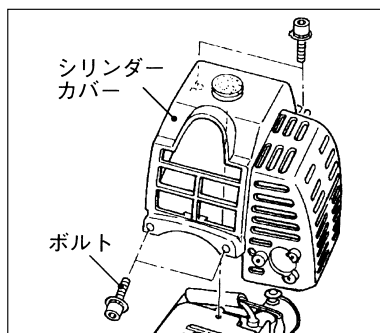
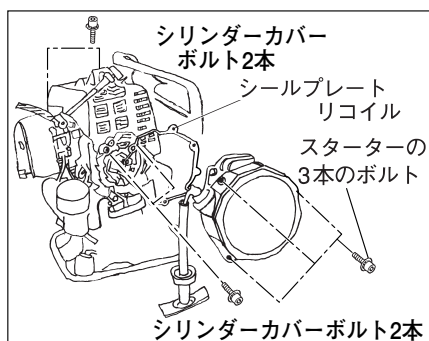
- 約100時間運転後、または電極の腐食がひどい場合はスパークプラグを交換してください。スパークプラグはチャンピオンCJ8Yをご使用ください。

6-4 シリンダーフィンの掃除

⚠ 警告

- シリンダーフィンの汚れや草のつまりはエンジンのオーバーヒート、焼き付きや火災の原因となりますので定期的に点検、掃除してください。

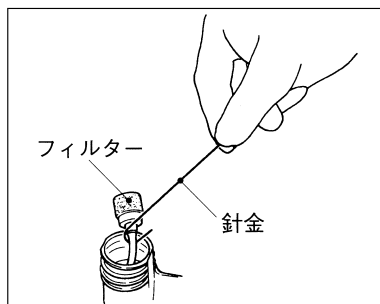
- ① リコイルスターターを固定している3本のボルトをゆるめて、リコイルスターターとシールプレートをはずしてください。
- ② 4本のボルトをゆるめシリンダーカバーをはずしてください。
- ③ シリンダーフィンやシリンダーカバー等に付着している草やほこりを取り除いてください。
- ④ 清掃後はシリンダーカバーを組み付け4本のボルトを確実に締め付けてください。
- ⑤ リコイルスターターとシールプレートを組み付け3本のボルトを確実に締め付けてください。



6-5 燃料フィルターの掃除

(RK251-SPの場合)

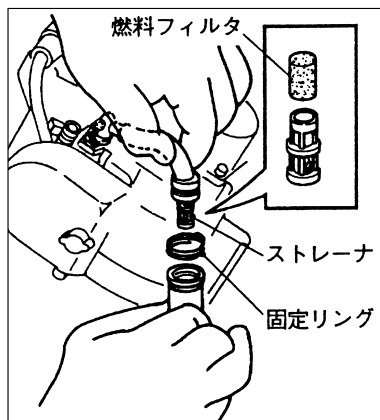
- ① 燃料タンク内燃料をすべて抜いてください。
- ② 燃料注入口から針金のフックでフィルターを引き出し、先端のフィルターを取り外しガソリンでよく洗ってください。



- ③組立前に燃料パイプを点検し、もし傷ついたり破損した場合は新品に交換してください。
- ④洗浄後、燃料パイプが折れないようにして、燃料フィルターを燃料注入口から燃料タンク内に戻してください。このとき、燃料フィルターが燃料タンクの底についていることを確認してください。

(RK251F-SPの場合)

- ①フレームに付いている燃料コックを閉じてください。
- ②固定リングをはずしてください。
- ③ストレーナをはずし、ガソリンでよく洗ってください。



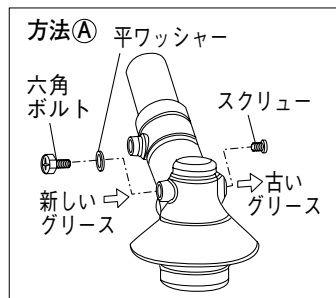
6-6 ギヤケースのグリス補給

グリス補給には二つの方法があります。

- ・刈刃装着時等は方法 **(A)**
- ・刈刃未装着時は方法 **(B)**

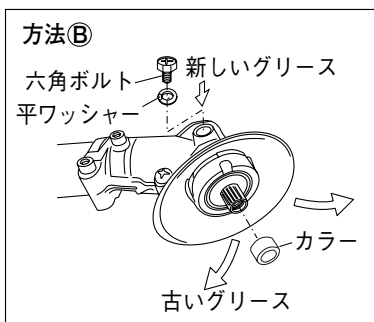
(方法 **(A)**)

- ①ギヤケースの六角ボルト、平ワッシャー、スクリューを外してください。
- ②六角ボルトを外した穴からグリスを補給してください。グリスは新ダイワ純正グリスを使用してください。
- ③古いグリスは新しいグリスに押されてスクリューを外した部分から出てきます。新しいグリスが出てくるまで補給してください。
- ④六角ボルト、平ワッシャー、スクリューを確実に取り付けてください。



(方法B)

- ① ボルト、ボルトガード、ホルダー（下）、ホルダー（上）を取り外し、ギヤシャフトのカラーを抜いてください。
- ② ギヤケースの六角ボルト、平ワッシャーを外してください。
- ③ 六角ボルトを外した穴からグリースを補給してください。グリースは新ダイワ純正グリースを使用してください。
- ④ 古いグリースは新しいグリースに押されてカラーを抜いた部分から出てきます。新しいグリースが出てくるまで補給してください。
- ⑤ カラー、六角ボルト、平ワッシャー、ホルダー（上）、ホルダー（下）、ボルトガード、ボルトを確実に取り付けてください。

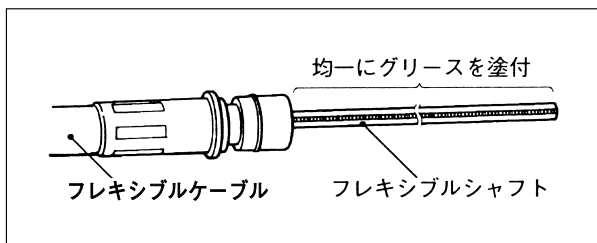


▲ 注意

- グリースは50時間毎に補給してください。ギヤケースの破損の原因となります。

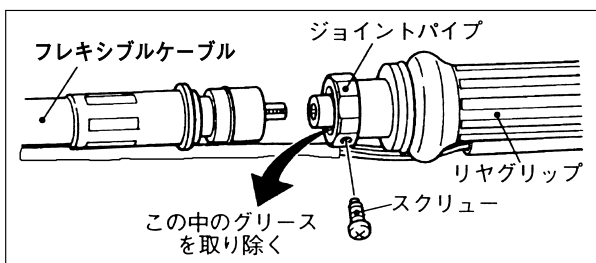
6-7 フレキシブルシャフトのグリース補給

- ① 「3-4 フレキシブルケーブルとエンジンの取付け」の逆の手順でフレキシブルケーブルをエンジンから取り外します。
- ② フレキシブルケーブルからフレキシブルシャフトを取り出します。



③フレキシブルシャフトにグリースを塗付してください。

④リヤグリップからフレキシブルケーブルを取り外してください。



⑤リヤグリップ内のグリースを取り除いてください。余分のグリースは発熱や漏れの原因となります。

⑥まわりについた汚れを取り除いた後、元の通りに組み立ててください。

6-8 刈刃の目立て

⚠ 危険

- 刈刃にひび割れ、変形等の異常がある場合は絶対に再使用せずに新品と交換してください。
- 刈刃の研磨は特殊な作業ですので、研磨の必要な場合はお買い上げの販売店に作業を依頼するか、講習を受けて行ってください。

7. 長期保管

次の手順に従って保管してください。

- ①各部を十分に掃除してください。
- ②点検・整備の項を参考にして点検・整備を行ってください。
- ③燃料を排出してください。

(RK251-SPの場合)

燃料タンクの燃料を排出し、始動ポンプを（透明の半円形）数回押し、キャブレター内の燃料も排出してください。

(RK251F-SPの場合)

燃料タンクの燃料を排出し、キャブレターのフロートチャンバー下部のボタンを押してキャブレター内の燃料も排出してください。

④こぼれた燃料は完全にふきとってください。

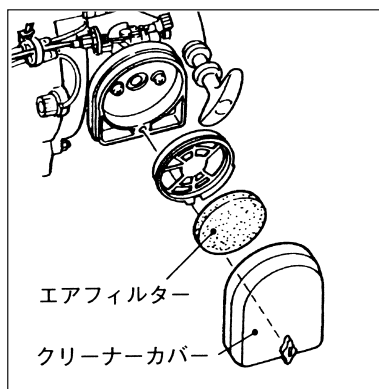
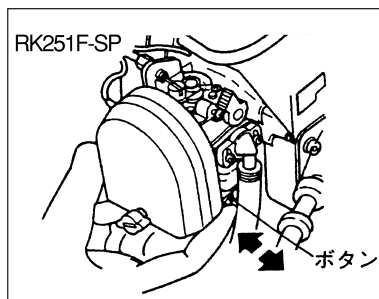
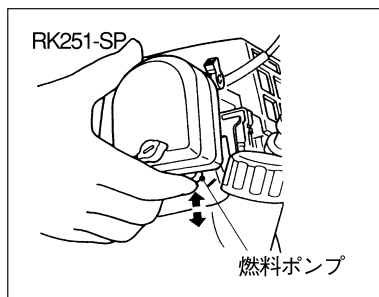
⑤エンジンを始動し、キャブレター内に残った燃料を使い切ってエンジンが停止するまで低速で運転してください。

⑥スパークプラグを外し、スパークプラグ穴から少量のオイルをシリンダー内に流し込み、オイルがゆきわたるように2～3回コイルスターターを引いてください。

⑦スパークプラグをもと通りに取り付けてください。

⑧クリーナーカバーを外して、エアフィルターを掃除して元どおりに取り付けてください。

⑨乾燥した火気のない冷暗所に保管してください。



▲ 注意

- 燃料タンク、フューエルパイプ、キャブレターの中に燃料が残った状態で長期保管をしないでください。燃料が変質します。

8. 故障の診断と処理

8-1. エンジンが始動しない場合

区 分	原 因	処 置	参 照 ページ
エンジンが回転しない	・ リコイルスターター不良	販売店で修理	—
	・ ピストン焼き付き	販売店で修理	—
圧縮が弱い	・ スパークプラグの緩み ・ シリンダ、ピストン、ピストンリングの摩耗	締め付け、再始動 販売店で修理	34
燃料の不良	・ 燃料の変質	新しい混合ガソリンを入れて再始動	23
キャブレターに燃料が来ない	・ 燃料フィルターのかみり	燃料フィルターを掃除して再始動	35
	・ 燃料パイプの破損	販売店で修理	—
スパークプラグが発火しない	・ マグネトーの故障	販売店で修理	—
スパークプラグの点検	・ スパークプラグが漏れている	スパークプラグを乾燥させ、リコイルスターターを数回引いてシリンダー内の燃料を排出し、再始動	27
	・ スパークプラグにカーボンたまり	掃除し、再始動	34
	・ スパークプラグすきま不良	0.6～0.7mmに調整	34
	・ スパークプラグが損傷又は種類が違う	新しいスパークプラグCJ8Yに交換	34

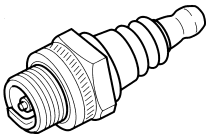
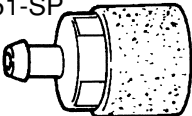
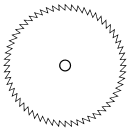
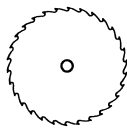
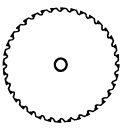
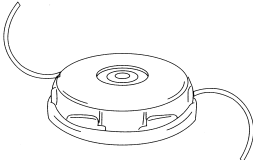
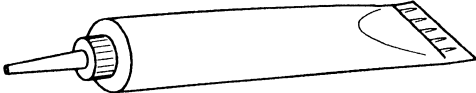
8－2. 力がない場合

区 分	原 因	処 置	参照 ページ
エンジンの加熱	・ 長時間の過負荷使用	ゆっくり切断する	－
	・ キャブレターの不良	販売店で修理	－
	・ 燃料混合比不良	正しい混合比の燃料を給油する	23
	・ シリンダーフィンにゴミが付着	ゴミ掃除	35
	・ シリンダー内、ピストンマフラー内カーボンたまり	販売店で修理	－
エンジンの回転 むら	・ エアフィルターの目づまり	エアフィルターの掃除	32
	・ スパークプラグの締め付けがゆるいまたは不良	締め付けるまたは交換	34
	・ 燃料フィルター、パイプのつまりまたはエア混入	掃除または交換	36
	・ 燃料に水の混入	燃料交換	23
	・ ピストン焼き付き	販売店で修理	－
	・ キャブレター不良	販売店で修理	－
ノッキング	・ エンジンの加熱	上記参照	－
	・ 燃料不良	燃料交換	23
	・ 燃焼室にカーボンがたまり	販売店で修理	－

8－3．その他の故障

区 分	原 因	処 置	参 照 ページ
加速不良	・ エアフィルター目づまり	掃除	32
	・ キャブレター不良	販売店で修理	—
	・ アイドリング回転速度が低い	3000min ⁻¹ {rpm}に調整	35
運転中にエンジン 停止	・ 燃料の欠乏	燃料補給	23
	・ 燃料フィルター目づまり	掃除	35
	・ 燃料に水の混入	燃料交換	23
	・ スパークプラグのカー ボンたい積による短絡	掃除	34
	・ プラグキャップの抜け	確実に取り付ける	34
	・ マグネトー故障	販売店で修理	—
	・ ピストン焼き付き	販売店で修理	—
エンジン停止 困難	・ スイッチ故障	販売店で修理	—
	・ アース線の断線	販売店で修理	—
	・ エンジン加熱	アイドリングにして冷却	—
回転を下げてでも 刈刃が止まらない	・ クラッチ故障	販売店で修理	—
	・ アイドリング回転速度が高い	3000min ⁻¹ {rpm}に調整	33
異常振動	・ 刈刃の破損	刈刃交換	—
	・ ギヤケースの緩み	ボルトの締め付け	—
	・ シャフトの曲がり ブッシュの摩耗	販売店で修理	—
燃料の漏れ	・ キャブレターのねじのゆるみ	販売店で修理	—
	・ 燃料パイプの破損	販売店で修理	—
	・ 燃料タンクの破損	販売店で修理	—

9. 主な消耗品

スパークプラグ	
フューエルフィルター	RK251-SP  RK251F-SP 
エアフィルター	
刈刃	 のこ刃  VR 8 枚刃  笹刈刃  チップソー
トリマーヘッド	
グリス	

10. 仕様

モ デ ル		RK251-SPA	RK251-SPB	RK251F-SPA	RK251F-SPB
エ ン ジ ン	機種名	SK251-SP		SK251F-SP	
	形式	空冷 2 サイクルエンジン			
	排気量 ml {cc}	24.1			
	点火方式	電子点火			
	スパークプラグ	チャンピオン、CJ8Y			
	キャブレター	ダイヤフラム式		フロート式	
	エアクリーナー	半湿式			
	燃料タンク容量 L	0.75		1.2	
	燃料	混合燃料（ガソリン：2サイクル専用オイル=25：1）			
	始動方式	リコイルスターター（Softスタート）			
	停止方式	スライドスイッチ	押ボタンスイッチ	スライドスイッチ	押ボタンスイッチ
刃先回転方向		上から見て反時計方向			
動力伝達方式		自動遠心クラッチ			
ハンドル		片手ハンドル			
スロットルレバー		トリガー式	固定式	トリガー式	固定式
適用刈刃	種別	のこ刃、VR8枚刃、笹刈刃、チップソー、トリマーヘッド			
	外径 mm	のこ刃、VR8枚刃、笹刈刃、チップソー:φ230,φ255			
	取付穴径 mm	のこ刃、VR8枚刃、笹刈刃、チップソー:φ25.4 トリマーヘッド:M7左ねじ			
エンジン部外形寸法 （長さ×幅×高さ）mm		325×275×320		310×300×400	
操作部長さ mm		2410			
本体乾燥 質量 kg	エンジン部	4.9			
	操作部	3.1			

* 本体乾燥質量は背負いバンド、背負いパッド、燃料、刈刃、安全ガードを除く。

* 仕様は予告なく変更することがあります。

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-6181

やまびこ北海道株式会社

〒 004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20 Tel 011-891-2249 (代)

やまびこ東北株式会社

〒 984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50 Tel 022-288-0511 (代)

やまびこ東部株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-1091 (代)

やまびこ中部株式会社

〒 452-0031 愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39 Tel 052-502-4111 (代)

やまびこ西部株式会社

〒 701-0221 岡山県岡山市南区藤田566-159 Tel 086-296-5911 (代)

やまびこ九州株式会社

〒 816-0943 福岡県大野城市白木原 5-3-7 Tel 092-573-5361 (代)

やまびこレンテックス株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-6777 (代)

やまびこ産業機械株式会社

〒 731-3167 広島市安佐南区大塚西6丁目2-11 Tel 082-849-2005 (代)

ご用命の際はお願いいただいた販売店へご連絡ください。